

従業者向け 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

公表日： 2025年09月30日
事業所名： A to Z Academy 児童発達支援 対象人数（従業者）5人 回答者数 5人 回収 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	法令を遵守し、安全面に配慮したうえで、必要なスペースを確保しています。	子どもたちが安心して参加できる環境づくりに工夫を重ねてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	法令を遵守し、必要とされる配置数を配置の上運営しております。	適切な職員配置と人材育成に引き続き取り組んでまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、	5	0	構造はシンプルで分かりやすく設計されており、障害特性に応じた生活環境の整備も行っています。	子どもたちが快適に過ごせる空間づくりを継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	感染症対策を踏まえ、清掃を徹底し、快適に過ごせる環境づくりに努めています。	清潔で、子どもたちが心地よく過ごせる環境の維持に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	バーテーションなどを活用し、クールダウンや目的に応じた空間の有効活用を行っています。	状況に応じた柔軟な対応を心がけてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	PDCAサイクルを活用した業務改善の仕組みを導入し、週次ミーティング等を通じて職員が意見を出しやすい環境づくりを重視しています。	職員一丸となって改善に取り組んでおります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケート調査に加え、保護者様からのご意見をもとに職員間で定期的な話し合いを行い、サービスの質向上に取り組んでいます。	職員一同、継続的な改善に努めております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	週ごとにミーティングを実施し、職員の意見を把握する機会を設けています。	全職員で協力し、改善活動を進めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	専門家による定期的な施設巡回と助言を受けながら、療育およびサービスの質の向上に努めています。	必要に応じて、適切な対応を検討・実施してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員の専門性向上を目的に、勉強会や研修を実施しています。	今後も継続して取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	弊社の公式ホームページにて情報を公開しています。	引き続き、継続して実施してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	計画期間ごとにアセスメントを実施し、それに基づいて個別支援計画を作成しています。	分かりやすい説明と保護者様との連携を大切にし、適切な支援計画の作成と同意のもと支援を行ってまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者会議を開催し、支援に関わる職員が共通理解のもと、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っています。	こどもの最善の利益を踏まえ、専門的な視点からアセスメントを実施しています。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援は策定された計画に沿って実施されています。	こどもたちが楽しく取り組めるよう、職員が工夫を凝らしてプログラムを考案しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使	5	0	標準化されたツールによるフォーマルなアセスメントに加え、日々の行動観察などインフォーマルな手法も活用しています。	今後も継続して取り組んでまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支	5	0	児童発達支援ガイドラインに示された「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の目的と内容を踏まえ、適切な支援内容を策定	引き続き、継続してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	プログラムの立案は、児童に関わるすべての職員で話し合いを行い、決定しています。	こどもたちが楽しみながら参加できるよう、職員が工夫してプログラムを企画しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎月、活動プログラムを企画し、工夫を凝らして実施しています。	多角的な視点から、職員それぞれがこどもたちに楽しく取り組んでもらえるようプログラムを考案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々の状況に応じて、個別療育と集団療育をバランスよく組み合わせで提供しています。	一人ひとりの状況に応じた支援を丁寧にやってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎営業日に朝会を実施し、その日の支援内容や役割分担、注意点や配慮事項などを詳細に共有しています。	引き続き、関係者との密な連携を図ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後には職員間で情報共有を行い、気づきや次回に活かすべき点、必要な配慮や目標について詳細に話し合っています。	職員間の情報共有を重視しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎回の通所時に記録を取り、職員間で共有しながら検証・改善に努めています。	継続的に実施しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを実施しています。	支援内容の適切な見直しを継続して行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議には、該当児童の状況に詳しい最適な職員が参加しています。	今後も積極的に参画してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	関係機関と連携し、支援体制の整備を進めています。	関係機関との連携強化に努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別	5	0	保育所等との間で支援内容の情報共有を行い、相互理解を深めています。	今後も相互理解に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	小学校等との間でも支援内容の情報共有を行い、相互理解の促進に努めています。	今後も相互理解に努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			必要に応じて、児童発達支援センターとの連携を適切に行っています。	今後も連携を継続してまいります。

携		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		引き続き、関係機関との連携を継続してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	合同避難訓練などを通じて、地域との交流を積極的に図っています。	地域交流の機会を増やしたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	ご利用日ごとに支援内容を共有し、日々の課題や変化について相互理解を深めています。	今後さらに機会を増やしていきたいと考えております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等	5	0	心理士による研修を実施しており、児童発達支援管理責任者等による助言や支援も日常的に行っています。	各ご家庭の状況を把握し、支援の強化に努めてまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	入所時には丁寧な説明を心がけ、通所後も継続的に連携を図りながら疑問点の解消に努めています。	ご家族に伝わりやすいよう、丁寧に分かりやすい説明を心がけています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する	5	0	こどもや保護者の意思を尊重し、こどもの最善の利益を優先する観点から、こどもやご家族のご意向を伺う機会を設けています。	継続して取り組んでまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	事前に説明を行い、十分な合意を得た上で対応しています。	ご家族に伝わりやすいよう、丁寧に分かりやすい説明を心がけています。引き続き同意をいただく中で進めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談を通じて、必要に応じた助言や支援を提供しています。	話しやすい関係性を大切にし、今後も密な連携を図ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士	5	0	保護者同士やこども同士が交流できる機会を設けています。	今後も機会の充実に努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	状況に応じて、迅速な対応を心がけています。	ご意見をいただきやすい関係性の構築に努め、ご家族への周知も丁寧に行ってまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信してい	5	0	ホームページやアプリを活用し、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報をこどもや保護者に向けて発信しています。	活動内容を継続的に配信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護法を遵守し、情報の取り扱いには細心の注意を払っています。	情報の取り扱いには厳重な注意を払い、今後も継続してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	お子様や保護者の状況に応じて、合理的配慮のもとで円滑な意思疎通と情報伝達を行っています。	一人ひとりに応じた対応を大切にしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	心理士による研修や講演会の際には、地域住民を無料で招待するなど、地域に開かれた事業運営を重視しています。	今後も機会の拡充に努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した	5	0	マニュアルを整備し、保護者への周知を行うとともに、職員向けの研修や訓練も実施しています。	定期的な見直しを行いながら、実施・周知・説明を継続してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画（BCP）を策定し、定期的な避難訓練を通じて災害時の対応力を高めています。	訓練や消防検査を定期的に実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬状況や発作などの健康状態を把握し、適切な支援につなげています。	個々の状況に応じた対応を行っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	必要に応じて医師と連携し、専門的な対応を行っています。	引き続き、関係機関との連携を図ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に関する研修や訓練を定期的に実施しています。	継続して実施しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	初回通所前に災害時の避難場所や対応方法を保護者に共有し、避難訓練の際にも改めて周知することで、こどもの安全確保に努めています。	今後も周知の徹底に努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた取り組みを行っています。	事故防止のため、職員間で情報を共有し、未然防止に取り組んでおります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止に関する研修を定期的に実施し、職員間で共通認識を持って支援にあたっています。	職員の意識向上に引き続き努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に	5	0	身体拘束に関する研修を定期的に行い、こどもや保護者に対しても丁寧な説明を行っています。	今後も継続して取り組んでまいります。